

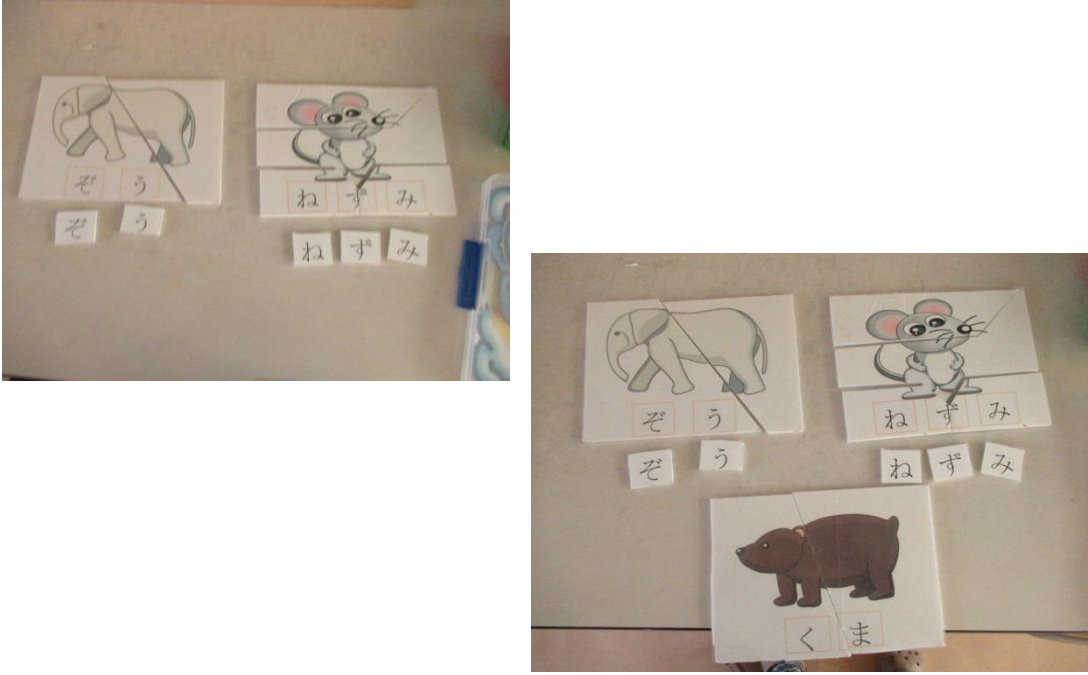
<p>題材名</p>	<p>マトリクス (食べ物 4×5)</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・数の概念が定着するようにする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・初回は必ずやり方を提示する。 ・正解したときは、置いた瞬間に「(例) りんご1、ピンポン」という。 ・間違えたときは、「おいしい!」「ブ!」という。</p>
<p>備考</p>	<p>・食べ物に強く興味をもっている生徒なので、課題に気持ちが向きやすいように食べ物をもとに作成した。 ・ケース、ホワイトボードは DAISO のもの。</p>


<p>題材名</p>	<p>マトリクス (どうぶつ 4×5)</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・数の概念が定着できるようにする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初回は必ずやり方を提示する。 ・正解したときは、置いた瞬間に「(例) シカ 1、ピンポン」という。 ・間違えたときは、「おいしい!」「ブ!」という。 ・その日の調子によって、こちらが1つずつ渡してやりとりをする。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が好きな生徒なので、課題に気持ちをもちやすい動物をもとに作成した。好きなものなので、よく注視して取り組んでいる。 ・ケース、ホワイトボードは DAISO のもの。

<p>題材名</p>	<p>マッチング (動詞)</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・動詞がイラストと一致できるようにする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初回は必ずやり方を提示する。 ・正解したときは、置いた瞬間に「(例) あつい、ピンポン」という。 ・間違えたときは、「おいしい!」「ブ!」という。 ・その日の調子によって、こちらが1つずつ渡してやりとりをする。 ・本人と一緒に動詞を声に出してやりとりをし、徐々に言葉に慣れるように繰り返しおこなう。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読めないひらがなもあるため、イラスト右上に解答を載せている。まずは、ひらがなとひらがなのマッチングから始め、文字に徐々に慣れることをねらっている。課題が習熟したら、イラスト右上の解答を消したものを提示していく予定。 ・ケース、ホワイトボードは DAISO のもの。


<p>題材名</p>	<p>マッチング（自然の名称）</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・名詞が写真と一致できるようになる。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初回は必ずやり方を提示する。 ・正解したときは、置いた瞬間に「(例) うみ、ピンポン」という。 ・間違えたときは、「おいしい!」「ブ!」という。 ・その日の調子によって、こちらが1つずつ渡してやりとりをする。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読めないひらがなもあるため、イラスト右上に解答を載せている。まずは、ひらがなとひらがなのマッチングから始め、文字に徐々に慣れることをねらっている。課題が習熟したら、イラスト右上の解答を消したものを提示していく予定。 ・ケース、ホワイトボードは DAISO のもの。


<p>題材名</p>	<p>よく見て クリップ止め</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I-1～3</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリップをよく見て 型紙にはさむ 手指の巧緻性を高める ・マークを意識する。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・白いシールの方向を意識しながらクリップを止める ・色のマッチングにも変化させることも可能
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>パズル</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I - 2 ~ 3</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・2分割から3分割のパズル ひらがなのマッチング</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・絵を合わせたあと、文字の読み及びマッチングを行うことで、ひらがなへの理解とつながるようにする。 ・パズルは10数種類程度用意し、課題への集中が持続するようにする。</p>
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>ロゴ文字マッチング カード教材</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺を増やす。 ・文字に親しむ
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺の数を増やす。生徒の実態に応じて提示数を増やす。 ・ロゴ文字で文字に親しみながら、文字学習を行う。 ・習熟度合に応じて、イラストと文字の組み合わせに変えていく。
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>数のマッチング</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－2から</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数の概念が定着できるようにする。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初回は必ずやり方を提示する。 ・正解したときは、置いた瞬間に「(例) 1、ピンポン」という。 ・間違えたときは、「おいしい!」「ブ!」という。 ・その日の調子によって、こちらが1つつ渡してやりとりをする。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース、ホワイトボードは DAISO のもの。

<p>題材名</p>	<p>ロープダンスを踊ろう</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅰ - 2～Ⅲ</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロープの力によって集団模倣のきっかけを得やすく、音楽と動きのつながりを感じながら身体表現する。 ・拍子に合わせて鈴を鳴らし、リズムを感じる。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座り、縦ふり、横ふり、左右に傾ける、掲げて激しく揺らす等の動きをする。 ・モデルとなる教員はタンバリンを持ち、振り付けが正対するように集団の前方に立ち、動きを示す。 ・前方への注目と模倣が難しい児童・生徒には、左右端についた教員がロープを動かして動きを促す。 ・グルーヴ感の感じやすい、比較的早いテンポの伴奏を使用することで、雰囲気盛り上がりやすい。例) 銀河鉄道 999、夏祭り
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴の配置は検討中。リング状ではなく、個別の鈴をつけるか今後の授業で実践していきたい。

<p>題材名</p>	<p>カレーを作ろう</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅰ－２、Ⅲ－１</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・カレーの作り方の手順を視覚化することにより、活動の見通しをもちやすくする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・手順ごとにリングを折りたたみ、生徒の前に近づけて提示する。</p>
<p>備考</p>	<p>・ステージⅢ-1の生徒は、目の前に提示することで注視していた。 また、ステージⅠ-2の生徒は写真を指差し、指で叩いていた。 ・リングはDAISOのもの。</p>